

# 自己点検・評価表

実施日: 平成 27年 10月 6日

学校名: 国際動物専門学校

## 1. 学校の教育目標

専門性の追求

動物を取り巻く環境をしっかりと理解し、動物業界で求められる知識・技術を追求し、戦力となる人財を育成します。

道徳性・人間性の育成

感謝の心を失わず、挨拶をはじめコミュニケーション能力の高い、品格の備わった人財を育成します。

動物福祉の実践

動物の生命及び尊厳を守る精神を養い、自然・環境・動物との共存共栄を実践し、広く社会に貢献できる人材を育成します。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### 【1】教学運営体制の整備

- (1) 自己点検・評価及び学校関係者評価制度の定着
- (2) 教育課程編成委員会の有効活用
- (3) 職業実践専門課程認定に係る企業等との連携強化

### 【2】教育関連の実施計画

- (1) 教員研修の充実
- (2) 授業方法の改善
- (3) 大学との連携
- (4) 動物看護師の公的資格制度の推進
- (5) 退学率の低減
- (6) 学生募集の強化
- (7) 就職支援の強化

**【3】社会貢献と連携事業**

- (1) 国際どうぶつ祭を継続的に開催
- (2) 行政機関や業界と連携した地域社会支援型の公開講座等を推進する。
- (3) 社会人を対象とした生涯学習へ参画する。

**【4】施設設備の整備計画**

施設・設備投資5ヵ年計画の見直しを図り、教育環境の向上に努める。

**【5】学校管理・運営**

- (1) 学校運営に関する規程等の見直し
- (2) 教職員の就業環境の充実
- (3) 危機管理体制の整備

**【6】財務**

学生等納付金収入および外部資金獲得の強化、主要経費の効率的活用を図り、法人及び学校財政の健全を維持した予算の策定

1 教育理念・目標			適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	課題・問題点・改善点
1	1	理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1	
1	2	学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	④ 3 2 1	
1	3	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1	
1	4	学校における職業教育の特色は明確になっているか	④ 3 2 1	
1	5	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1	学生及び保護者に向けての周知方法を検討、改善していく。具体的には学生の手引き等への適切な記載、保護者会の開催、保護者向けの通信の発行など。

- ① 課題
- ・理念・目的・育成人材像などについて学生への周知は「学生の手引き」を用いて行われているが、保護者への周知は入学前の「学校案内書」での部分的な周知に留まっている点
- ② 今後の改善方策
- ・「学生の手引き」への記載を詳細化し、また保護者向けにも作成し周知を図る。または保護者向け説明会（保護者会）開催や通信の発行などにより周知することを検討し改善する。
- ③ 特記事項

2 学校運営			適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	課題・問題点・改善点
2	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程認定要件に沿った適切な運営がなされているか	④ 3 2 1	
2	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1	学園本部会議の組織上の位置づけを明確にする
2	3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1	
2	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1	
2	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1	
2	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1	
2	7	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4 ③ 2 1	毎年度の講師ミーティングの実施や方針説明会で講師との学科方針などを共有、但し現状は開催頻度が少ないため、今後は半期ごとに開催することが望ましい。
2	8	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1	コンプライアンス推進規程の内容を再度整備する必要がある。 また規程に対するの周知を徹底させる。
2	9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1	
2	10	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1	
2	11	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	④ 3 2 1	教育方針や目標における課題に対しての具体的改善計画の策定が不十分である。 事業計画の策定期の見直しも必要
2	12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	4 ③ 2 1	クレーム対応マニュアル等規程の内容を整備する必要がある。 規程に対するの周知を徹底することと組織的な対応の業務システムを構築させる必要がある。
2	13	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	④ 3 2 1	

### ① 課題

- ・ 学園本部会議の組織上の位置づけが不明確
- ・ 講師会等情報共有する場としての開催頻度
- ・ コンプライアンス体制の強化
- ・ 学校評価等の課題に対しての具体的改善計画の策定が不十分
- ・ 学生、保護者等のクレームに対する組織対応が不十分

② 今後の改善方策

- ・現状の法人組織運営と各業務の管理体制における内部統制システムを見直し、理事会、評議員会、監事による内部監査の充実及び職業教育機関としての質保証・向上を目的とした外部審査（第三者評価等）の実施など法人運営におけるガバナンス機能を強化させる必要がある。
- ・学園本部会議の組織上の位置づけを明確にし、意思決定システムの見直しを図る。
- ・学校と講師との情報共有できる場を設け、講師会などは半期ごとの開催も検討する必要がある。
- ・各年度における事業計画や学科方針を年度内に行うなど策定期の見直しを図る。
- ・学生、保護者からのクレーム・要請に対する組織的対応の体制を整備する。

③ 特記事項

3 教育活動			適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	課題・問題点・改善点
3	1	教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1	学生手帳として学生へ携行させることを検討する
3	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1	
3	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1	
3	4	動物関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1	教員の研修報告書について書式の統一を検討する
3	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1	実習プロトコルの提示を検討 実習とコマシラバスと紐付していけるようにしていく 企業に対して取得資格について説明、提示できるよう検討
3	6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1	
3	7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	4 3 ② 1	H27年度コマシラバスを集約しH28年度にはコマシラバスを整える
3	8	動物関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1	
3	9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4 3 ② 1	H28年度から学生にはシラバス概要のみを配布し、将来的にはコマシラバスまで配布することを視野に準備を進めていくよう改善に向けて取り組んでいる
3	10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか	④ 3 2 1	

3	11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	③	2	1	アンケートに設備や教材に関する項目を追記していく 授業アンケートのみでの評価のため3とする
3	12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	学生手帳を導入した場合はエビデンスとして追加する 仮進級についてのメリット、デメリットを明確にして整理する
3	13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1	看護科の委託実習については委託先や実施内容の変更を検討(赤坂動物病院)
3	14	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1	授業評価スケールは今年度実施していないため、制度として存在するとしてエビデンスに組み込む 授業参観が実施できていないため3 非常勤講師が適材適所でなされているかが課題
3	15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	③	2	1	学内で個人情報について取り扱いの改善に努めているが、徹底と保護規定については、現状では案の段であることから3とする
3	16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4	③	2	1	学習環境等は、教育内容、設備、教材なども含める 研修検証報告は統一した書式で作成していくことを検討 教員に対して、何が必要なスキルなのか整理する 教科書選定委員の設置を検討 (H27年度は各科での教材会議の記録を集約しておく) 教材の検証が無いため3とする
3	17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1	教師に対する模擬授業評価の導入をしていく 教職員、講師の職歴、資格に対する情報の把握が足りていないため3とする 教職員、講師の経歴、資格リストを作成
3	18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	4	③	2	1	教師に対する模擬授業評価の導入をしていく 教職員の職歴、資格に対する情報の把握と評価体制に課題があるため2とする
3	19	動物関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1	教師力に対する研修が足りていないため3とする 教員に対して何の能力が足りていないか明示していく必要がある
3	20	職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果の評価し、文書により記録しているか)	4	③	2	1	事務、広報に研修報告書を確認する エビデンスが揃った段階で評価するため3とする
3	21	動物関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1	エビデンスが揃っているため4とする

### ① 課題

- ・シラバス及びコマシラバスの作成がまだ未完成であり、そのため学生への配布をすることができていない。
- ・教員の教師力を高める研修や、職員の能力を高める研修に関して、まだまだ不足している部分がある。
- ・教員、講師のコンピテンシーを的確に把握することができていないため、適正な評価をすることができていない。

② 今後の改善方策

- ・すべての科目のシラバスを作成し、年度初めのガイダンスもしくは最初の授業時に学生に配布・説明をする。
- ・教員の教師力向上、職員の能力向上に適した研修を計画的に実施する。
- ・教員、講師の職歴・取得資格などに関する情報の把握することができていないため、適正な評価することができていない。

③ 特記事項

4 学修成果		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1			課題・問題点・改善点	
4	1	④	3	2	1	美容科とトレーナー学科は社内検定を実施しているが、看護科と飼育科にはない
4	2	4	③	2	1	情報の網羅まではできていない 卒業生から情報を得る術があまりない。卒業生から学校へアプローチする仕掛けが必要
4	3	4	③	2	1	コマシラバスが未完のため3
4	4	4	3	②	1	年間スケジュール検討委員会の設置を検討し、スケジュールを決めて記録を残していく
4	5	④	3	2	1	現状、出席状況は出ない書式になっているが、企業側から出席状況に関するニーズもある必要に応じて対応できているため4とする
4	6	4	⑤	2	1	ニーズの指しているものは、企業とするか、学生として捉えるかでエビデンスが変わってくる。 満足度調査報告書があるため3とする。報告書の数が多くはないので3とする ・就職担当の企業訪問活動で回収していく
4	7	④	3	2	1	エビデンスが揃っているため4とする
4	8	④	3	2	1	卒業生からの情報を取り切れていないため3としているが、キャリア教育を実施しているため4 卒業生に対するものだけでなく、企業に対しても情報を得ていく アドバンス教育システムを検討する

- ① 課題
- ・卒業生との直接的な関わりを持つ手段が構築されていないため、卒業生の現況把握や活躍などの把握、こちらからの案内などを伝える手段が無い。
  - ・企業からの卒業生に対する評価や卒業生に対する満足度調査は実施しているが、回答数が少ないためデータとしての価値が満たされていない。

- ② 今後の改善方策
- ・卒業生との結びつきを強化するシステムを確立する
  - ・就職担当の企業訪問活動時に直接満足度調査を回収する。

③ 特記事項

5 学生支援		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	課題・問題点・改善点
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 就職相談室備品リスト、就職相談室利用者リストを作成する
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
5	3	保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
5	4	卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1 卒業生の訪問記録及び卒業生の相談記録を残す。卒業生の就職相談室の利用記録を残す
5	5	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	④ 3 2 1 各種サポートに関して学生の手引きに記載して案内する
5	6	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
5	7	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1 保健室の利用案内を作成する
5	8	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
5	9	学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
5	10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1



- ① 課題
- ・全体的に保護者との連携が不足している。
  - ・卒業生に対する支援実績を記録として残していない。
- ② 今後の改善方策
- ・色々な行事への保護者の参加や、保護者会の実施を検討する。
  - ・卒業生に対する支援実績を記録として残す。
- ③ 特記事項

6 教育環境			適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	課題・問題点・改善点
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1	
6	2	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	④ 3 2 1	
6	3	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	④ 3 2 1	
6	4	防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1	備蓄物資については十分とは言えない
6	5	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1	学外実習施設はない。

- ① 課題
- ・校舎等の施設老朽化に対する改修計画策定と充実した学習環境の整備・インターンシップの教育目標と教育効果を明確化。
  - ・災害等に対する危機管理体制の徹底を図る。
- ② 今後の改善方策
- ・施設・設備等の劣化・老朽化に備えた中期施設・設備整備計画の見直しと安全かつ快適な学習環境を整備するためバリアフリーに向けた整備計画を策定する。
  - ・災害物資を学内で十分備蓄できるような体制を検討する。
- ③ 特記事項

7 学生の受入れ募集			適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	課題・問題点・改善点
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか)	④ 3 2 1	
7	2	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	④ 3 2 1	
7	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	④ 3 2 1	
7	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	④ 3 2 1	
7	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1	
7	6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4 ③ 2 1	エビデンス不可。学校基本情報追加で適へ。 入学前の段階での説明が不足しているため次年度以降オープンキャンパス等での説明を改善する。
7	7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4 ③ 2 1	
7	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	④ 3 2 1	
7	9	学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1	

- ① 課題  
 在学中の成績評価手段等については入学後に「学生の手引き」による説明に留まっており、特別なニーズに関する特定もできていない。保護者への案内は個人情報の承諾書に留まり、学校側の義務や責任について広範囲で案内は出来ていない。
- ② 今後の改善方策  
 保護者向けの「学生の手引き」の作成と、学生募集イベント時に在学時の評価基準等具体的な手段について言及し、周知する。
- ③ 特記事項

8 教育の内部質保証システム			適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	課題・問題点・改善点
8	1	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ㊸ 2 1	個人情報保護規定は現状では案であるが、早急に完成を目指す
8	2	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	㊸ 3 2 1	個人情報保護規定は引き続き検討中
8	3	文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	㊸ 3 2 1	文書管理リストを追加
8	4	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	4 ㊸ 2 1	
8	5	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4 ㊸ 2 1	
8	6	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4 ㊸ 2 1	学校関係者評価委員会からの指摘事項を明確にしている議事録がある
8	7	自己点検・評価結果を公開しているか	㊸ 3 2 1	

### ① 課題

- ・個人情報の保護対応について各学科、課で対処方法を考慮中であるが、どの程度までの情報が保護の対象になるのか、などの拾い出しが不完全であるパソコンの取扱い、データの保管場所を個人の意識として確立させる必要がある。
- ・コンプライアンスについてそのチェック機能の確立に努める
- ・今回初回の内部監査のため、指摘事項として改善すべき点を明確にし、その改善に努める

### ② 今後の改善方策

- ・個人情報保護は、どこまでが対応必要性があるのかを確認し、日常ルーチンに使用する情報保護が業務の妨げにならないよう配慮しながら保護に努める必要がある。その限界をどこにするかの検討が必要。
- ・学則による「学生の手引き」は、新入生オリエンテーションにおいて解説されるが、その「学則」はA4プリントとして配布され、保管することになっている。学生は、通常時に学則を即眼にし、確認実行できるようにするためには手帳タイプの学則を携帯できるような配慮が必要ではないか。
- ・学則違反かどうかの自覚不足に対応できる対策
- ・8-4については、自己点検・評価、セルフチェックは実施されて問題点の改善に努めてはいるが、内部監査の実施が為されていない。
- ・8-5「監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか」については、適任者による監査や評価が為されてこなかったが、第三者評価者の作成、教育し育成を目標として実施しているところである。

### ③ 特記事項

内部監査実施がなされていなかったため、8-6、8-7資料に欠く

9 財務			適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	課題・問題点・改善点
9	1	財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1	
9	2	財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1	情報公開のための規定が未整備
9	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1	
9	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1	

① 課題

- ・情報公開のための体制整備（規定等の未整備）
- ・安定的財務基盤を確保するための収支バランスの安定化と中長期的

② 今後の改善方策

- ・情報公開による公共性や社会的責任を明確にするために開示する情報内容や方法の適正を図り、情報公開規定の整備を行う。
- ・財務基盤のより安定化を図るために学納金の増収かと効率的な経費削減を徹底させる。

③ 特記事項

10 社会貢献・地域貢献			適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	課題・問題点・改善点
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1	
10	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1	
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1	

① 課題

地域に向けた公開講座の実施等は学園主体のものでは無い外部団体への教室貸与に留まっている。

② 今後の改善方策

今後関係団体、役所等との連携を強化し、実施する。また学園の教育資源を活用した公開講座の開設に向けて準備を開始する。

③ 特記事項